

【学校だより】

たむら



第5号 平成 28 年 9 月6日

平成 28 年 2 学期の始まりによせて…

偉大なアスリート達に学ぶ

2 学期は体育祭で始まりました。去年は雨に見舞われましたが、今年は暑さに悩まされた体育祭となりました。(翌日の曇り空が恨めしかったです。)しかし短い練習時間ではありましたが、子ども達のやる気は素晴らしく、アイデアにあふれた楽しい応援合戦、熱のこもった競技、元気なかけ声のよさこい踊りと、活気に満ちた体育祭となりました。保護者の方々、地区の方々にはおかれましては、子ども達へご配慮やバックアップ、誠にありがとうございました。

さて、スポーツ行事で始まった 2 学期。明日から高学年は 10 月の陸上記録会を目指して、放課後練習を始めます。それも意識して、始業式で子どもたちに 2 つの話をしました。

1 つ目の話は、リオのオリンピックにおいて男子体操で団体と個人総合の金メダルを取った内村航平選手の言葉にまつわる話です。彼は、「自分の中に本当に追いつけないぐらいの理想を持って、それに一歩でも近づけるように、自分の中で努力します。世界チャンピオンであるためには世界で最高の練習をしなくてはならない」

と語ったそうです。自分の体と心との戦いに負けず、自分を鍛え上げた人だからこそ、素晴らしい成績を勝ち取り、世界の人に感動を与えることができるのだと思います。

2 つ目の話は、大相撲の琴勇輝関の話です。実は春に子ども達と一緒に、中名田小学校に来てくださいというお手紙書いたのです。それが実現し、琴勇輝関は小浜に来られたのですが、夏休みだったことや琴勇輝関のスケジュールの都合もあり、中名田小学校訪問はかないませ

んでした。しかし直接お会いして、子ども達にサイン入りの T シャツを預かってきました。それにまつわる話です。

小学校で相撲を始め、力士になりたいという夢を持っていた琴勇輝関は、小学校卒業後は親元を離れて、相撲の指導で有名な監督のいる小豆島の中学・高校へ進みました。努力が実って相撲部屋に入り、本格的な修行をしていたある日、競技中に足に大けがをして医師から「もう相撲を取るのは無理かもしれない」と言われました。しかし「自分の足で人生に 1 回歩けるかどうかの、俺よりも大きな戦いをしている人がいるんだ。」と前向きな考えで、つらいリハビリを続け復帰を目指しました。そしてまだ完治にほど遠かった翌年の春場所、親方へ出場を志願し「自分は相撲を取るために生まれてきたんです」と言って、試合に望んだそうです。その 2 年後、横綱を破り金星を勝ち取った琴勇輝関は「諦めないで頑張っていれば、いいこともあるんだ」と、男泣きをしたそうです。

この 2 人のアスリートの話を通して、

- 1 夢や目標を持っている人は輝いている。そして周りの人にも感動や元気や勇気を与えている
- 2 夢や目標を追っている人は、限界だとかできないとかいう理由を口にせず、それができるように前向きな言葉で語り、前向きな態度で物事に向かう
- 3 夢や目標を成し遂げる人は、人と戦う以上に自分と戦い、そして自分に勝っているということを子ども達に伝えました。

2 学期は学習だけでなく、スポーツでも充実した取組を行う時期です。偉大なアスリート達に学び、目標を持って物事に向かう姿勢を考えながら、2 学期のスポーツに学習に取り組みんでほしいと願っています。

PTA 親子奉仕作業 ありがとうございました！

8月28日（日）の親子奉仕作業では、本当にありがとうございました。途中、雨に降られましたが、怪我もなく、無事終わることができ感謝しております。

今年は、夢づくり委員会を中心とした地域と合同の奉仕作業ということで、大勢の方々が参加くださり「壮観！」という感じの作業となりました。体育会を控えてのグラウンドの除草や環境整備、校内の美化等々、大変丁寧にしていただきました。そして、何よりも今年が目玉はリニューアルした畑の獣害防止柵です。設計・施工等、お父さん方のお力で素晴らしい柵をつくっていただきました。夏野菜は時期が終わり、今はサツマイモですが、秋には低学年が大根を植えることを計画しています。子ども達が安心してのびのびと体験学習をし、大収穫をしていくことと思います。

本当にありがとうございました。



☆～ 新職員のご紹介 ～☆

9月1日から新しい職員が2名加わります。

複式授業解消対策のため、週2日本校で勤務してくれることになりました。主に3年生と4年生の授業に入ります。

今年3月に学校事務職員を退職しましたが、今度は学校運営事務に係る支援のため週3日勤務します。

※2人ともよろしくお願いたします！

【体育祭絵巻】

